



ユラックス熱海の会場には約300人が参加

県内より300名が参加

郡山で技術講習会行う

郡山市のユラックス熱海で開催された。国や県から講師を招いて建築設備に係る諸問題を取り上げたほか、技術委員会のメンバーによる「阪神・淡路大震災に学ぶ」と題した協会独自の発表があり、参加した会員らは地震など災害に強い電気設備についての知識を深めた。

主任技術者クラスを対象に

この講習会は、電気設備工事に係る施工管理上の諸問題を研究すると共に関連法規の理解を深め、技術水準の向上と責任施工体制の確立を目的に毎年実施しているもので、今年は各社主任クラスの技術者をはじめとする協会の役員ら約三百人が参加した。

冒頭、三瓶良孝副会長が開会式に続いて松崎勉

事

本協会の平成7年度技術講習会が9月21日、主任技術者クラスを対象として郡山市のユラックス熱海で開催された。国や県から講師を招いて建築設備に係る諸問題を取り上げたほか、技術委員会のメンバーによる「阪神・淡路大震災に学ぶ」と題した協会独自の発表があり、参加した会員らは地震など災害に強い電気設備についての知識を深めた。

阪神・淡路大震災に学んで



発行所
社団法人
福島県電設業協会
発行人 松崎 勉
郵便番号 960
福島市松浪町9-6
(福島県電協会館)
電話 (0245)33-6226
編集印刷術 福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

電気設備
住宅設備機器
コーディネーター OKADA

岡田電気産業株式会社

本社 いわき市平谷川瀬字明治町二七
営業所 白河(○二四六一)二五一一
原町・須賀川・郡山南・郡山北・会津
勿来・相馬・福島・十ヶ所
他県外十ヶ所

るために超えなければならない様々なハードルや経営側の課題等を示した。特に建築の中で設備が占めるウエートが高まっている情勢の中で、設備技術者は独立した存在であることを社会のニーズに対応する

局営繕部の麻生和寿設備課長(建築設備に関する最近の話題)、県土木部都市局営繕課内山佳弘主幹兼課長補佐(今、技術者に求められるもの)の各氏が講師となつて行われ、技術者の資質向上を図

われ、技術者の資質向上を図るために超えなければならない様々なハードルや経営側の課題等を示した。特に建築の中で設備が占めるウエートが強調された。

また、「建築設備に関する最近の話題」として講習した麻生設備課長は、公共工事の入札・契約において明治三十一年以来、指名競争入札を基本としていたものが今回の改

革で一般競争入札の本格的導入となり、透明性や客観性及び競争性の向上を図るために、約全般にわたつての見直しがなつた経緯などを説明した。一方、県都市局の内山営繕課主幹兼課長補佐は、「今、技術者に求められるもの」と題して建築物における設備の重要性を説き、品質が高くグレードの少ない維持管理の容易な目的物を完成させる必要があることを指摘。電気設備工事に従事する技術者は自分の

業務に誇りと責任および自信を持って、決して妥協しない信念をもつてほしいと述べた。

さらに技術委員会の監定昭委員長や大槻賢彌副委員長、先崎元勝・佐藤脩一両技術委員が先の神戸視察をもとに、阪神・淡路大震災における電気設備の被災状況や復旧の進み具合についてビデオやスライドを活用しながら二時間にわたり説明し、建築物や電気設備の被災や復旧の状況について貴重な情報等について貴重なリポートを行つた。

National 松下電工

盤革命。

ニュートラルスイッチは
JIS協約形の
1Pブレーカと一体化。
これにより大幅な省施工を実現。
①VVFケーブルの股さかわすかで済み、結線時間を約25%も短縮(当社比)。
②ケーブル断面が約1/6に減少(当社比)。
③接続が楽くて、資源のムダ使いも低減。
④保守点検時の回路確認もスムーズ。

⑤ニコートフルスイッチは
ツチスペースをいらすと小型化も達成。タテ寸法で最大300mmもコンパクトに(100A、40回路の場合)。

さらに漏電保護付・漏電表示付
は1Pサイズに100V。

①同一路数のボックスを大幅に小型化。
②配線保護用を漏電保護付に変更するときは配線保護用を外し、そのまま取り付けるだけで作業が完了します。

省施工新標準
アロ一盤

●商品のお問い合わせ・カタログのご請求は、
〒963 福島県郡山市朝日2-5-15 松下電工・福島営業所
TEL(0249)39-7731 FAX(0249)39-4777

A&I 快適を科学します

震災レポートを発表

視察研修報告まとまる

同日は講習会において「阪神・淡路大震災に学ぶ」と題して技術委員会でまとめられた視察研修報告書が提示された。

これは、七月十三日から十五日までの三日間、震災発生から六ヶ月を経過した被災地を視察研修してまとめられた。報告書で、製作にあたっては、代社会における安全を厳しく問いかける貴重な「結果」となった」と出席者に呼びかけた。

山野辺巣次長が、「社会の変化をとらえ、建設政策大綱の

引き続いだ県の県中建設事務所から來賓として出席した

大水害が忘れられつつある昭和五十年に早水前社長(現社長の父)の呼びかけで、神戸市電気設備協会が発足、毎年

防災訓練を実施してきた経緯

平成7年度技術講習会
阪神・淡路大震災に学ぶ

まとめられた報告書



発表する大槻氏



演壇



伊藤氏



内山氏

県建産連

来年度予算へ陳情

県議会要望聴取会で

(社)県建設産業団体連合会
 (志賀久太郎会長)は九月十九日、県議会各党が開いた来年度県予算編成に向けた要望聴取会に出席し、公共事業予算の確保や地元中小建設業者の育成策確立など七項目を陳情した。



7項目を各関係機関に陳情する志賀建産連会長

に出向き各党に陳情した。

今回、同連合会がまとめた陳情内容は①公共事業予算の確保②地元中小建設業者の育成策確立(受注機会の確保)

③市町村発注建設工事に係る平準化など)⑤建設産業の振興対策(建設従事者の養成確保など)。

当日は、志賀会長をはじめとする本協会の松崎幹事長らが、県連主要団体の代表が県庁に出席し、公共事業予算の確保や地元中小建設業者の育成策確立など七項目を陳情した。

当日は、志賀会長をはじめとする本協会の松崎幹事長らが、県連主要団体の代表が県庁に出席し、公共事業予算の確保や地元中小建設業者の育成策確立など七項目を陳情した。

(志賀久太郎会長)は九月十九日、県議会各党が開いた来年度県予算編成に向けた要望聴取会に出席し、公共事業予算の確保や地元中小建設業者の育成策確立など七項目を陳情した。

当日は、志賀会長をはじめとする本協会の松崎幹事長らが、県連主要団体の代表が県庁に出席し、公共事業予算の確保や地元中小建設業者の育成策確立など七項目を陳情した。

員の高齢化や技術ばかりでなく、技能についても尊ぶよな学校教育のあり方とか、労働時間短縮、賃金の支払い形態を含めた雇用改善策を進めていくためにも発注事業の平準化を進め、建設企業の経営安定を図る施策を求める声が多く出された。

このほか斎藤卓夫幹事長から「社会資本整備を円滑に進む」として、「みんなでなくそぞ電波障害」をスロー保など。

陳情を行った一行は、県議会各党のほか県知事ら三役、土木部、農林水産部らにも陳情内容の説明を行った。志賀会長は、「景気が低迷しており民間設備投資の停滞などによって受注環境は一層厳しいが、我々の社会的使命を認識して資源の向上を図りたい。県民に信頼される業界を目指す」とあいさつすると

され、連合会側からは、「今後も活動強化をして、建設政策大綱などを示されている建設業の構造改善についての意見や質問がなされ、連合会側からは、「今後も活動強化をして、建設政策大綱などを示されるとともに、一般作業員を指導する」といった危機意識があげられました。

電波障害防止協議会では、10月を「電波障害クリーン月間」として、「みんなでなくそぞ電波障害」をスロー放送、電信電話、鉄道、さらには電力関係、電気機器メーカー、家電販売店などが加盟している団体。不法無線局や電気機器による生じる妨害電波は、家庭のテレビ画面を乱し、またその画面がゴースト(上)やバルス(右下)、ピート(左下)、障害時は相談を

しており民間設備投資の停滞などが、志賀会長も、「全国の声」を表明する場で改めて主張する構えを打ち出した。

電波障害を防ごう

10月は電波障害クリーン月間

症状の際は同協議会事務局(NHK福島放送局)までご相談ください。

テレビ画面が次のような

- 道路情報表示システム
- 道路気象観測システム
- トンネル防災システム
- 交通管制システム
- 交通信号機

●街路・広場・スポーツ照明

小糸工業株式会社

Koito

安全と快適を求めて

安全へのトータルシステム

- 道路情報表示システム
- 道路気象観測システム
- トンネル防災システム
- 交通管制システム
- 交通信号機
- 街路・広場・スポーツ照明

TAKAOKA

フル容量で、フルラインアップ

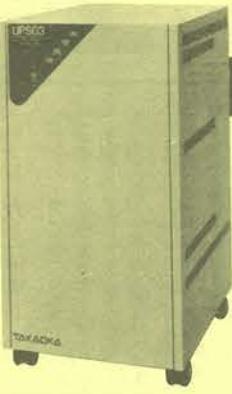
無停電電源装置
クリーンUPS

●クリーンUPS 3KV

■低損失形変圧器

■課電表示器

■受電設備、システム製品、
水処理その他の環境設備



コンピュータシステムのニーズに応える

株式会社 高岳製作所

福島営業所 TEL 0249(33)7709

〒963 郡山市駅前1-14-21(郡山花椿ビル)

仙台支店 〒980 仙台市青葉区国分町2丁目2番5号(柴崎ビル) TEL 022(225)7501

今年度の福島市優良建設工事表彰式が福島市の福島グリーンバンクにおいて開かれ、吉田修一福島市長や市関係者、(社)県建設業協会福島支部は今年で十五回目。年々施工技術の習得を正に地で行く市長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念の盾が手渡され賞。当日は参加者全員での安

